

住みよいまちづくり

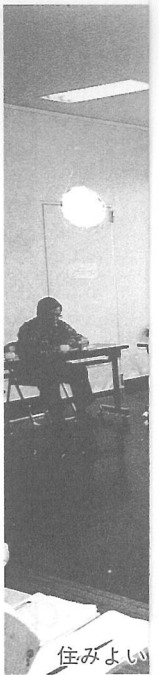
の整備も重要ですが、このような文化の充実を図ることも必要だと思います。

子供の国に温水プール

北清水地区にある工場では、重油や天然ガスを燃やしてタイヤ等の原料となるカーボンをつくっていますが、製造過程で出る副生ガスを利用し、蒸気を発生させているそうです。これをうまく利用して海の子供の国に温水プールを建設してはどうでしょう。夏季だけではなく、通年型の施設も必要だと思います。また、メロンやきゅうりなどのハウス栽培にも利用できる方法があると思いますので、ぜひ検討していただきたい。

自然を活かした海岸開発

青い海、白い砂浜、そして緑



の松林と屋形海岸は豊かな自然環境に恵まれています。しかし、観光を考えると十分活かされていないように思えます。

いま海岸では、階段式護岸や公園の整備が行われていて、観光的な要素を整えつつありますが、周辺の自然を活かしたキャンプ場などのレジャー施設をつくってみてはどうでしょう。また、漁港もヨットやボートが停泊できるよう整備すれば海岸地域の活性化が図れると思います。

学校教育に横芝の本

小学校3年生になると、地域の問題を取り上げる授業があるので「私たちの横芝」という本をつくり授業に活用しては、

自分たちが生まれ育った町の歴史や文化を知ることが、次代を担う子供たちにとって大切なことだと思います。



幼児の医療費無料化

高齢化社会が進むなかで、出生率が年々低下してきており、日本の人口構成は逆ピラミッド型と言われています。子供が少ないのは様々な原因が考えられますが、保護者の経済的な問題もあると思います。出産費用も今はばかになりません。

そこで、保護者の負担を少なくするため、0歳から5歳児までの医療費を無料にしてはどうでしょう。このままの状態だと将来大きな社会問題になるので、いづれみんな年をとって、子供に面倒をみてもらうわけですから。

ルールを守り実行

私の家の近くに生ゴミなどの可燃物の収集場所がありますが、決められた日以外に出す人がいるため、犬や猫によってゴミが



散乱しています。また、指定の袋でも、中にビンやカンなど燃えないものが入っていることから、回収されずにその場に残されているものもあります。そのため、周囲には悪臭が漂い、これからの時期はハエの発生原因になります。そしてまた、依然として不法投棄もあとを絶ちません。

ゴミ問題については、私たちの生活の中で最も身近な問題であるため、この会でもその対策について様々な意見が出されているようですが、大切なことは私たち一人ひとりがルールを守り、それを実行することだと思います。

「自分一人ぐらい」という考えではいつまでたってもこの問題は解決しません。地域に住む私たちがお互い協力しあい、それぞれの立場に立って行動することによって、よりよい生活環境がつけられるのではないのでしょうか。

